

第3回 首里城復旧・復興推進本部会議

日時:令和2年12月15日(火)10:30~

場所:6階第2特別会議室

進行:知事公室 特命推進課

次第

1 開 会

2 議 事

(1) 報告事項

- ① 首里城復興基本計画の策定状況について
- ② 首里城復興に関する取組状況について
- ③ 企業版ふるさと納税への対応について

(2) 確認事項

- ① 首里城復興基金を活用した事業について
(木材の樹種変更、赤瓦の調達)
- ② 中城御殿の整備について
(城郭内文化財展示収蔵機能の附加)

参考資料：首里城復興基本計画(たたき台)



(1) 報告事項

- ① 首里城復興基本計画の策定状況について**

(1)－① 首里城復興基本計画(骨子案)

第1章 はじめに

1 基本計画策定の主旨・目的

- 沖縄県が4月に策定した首里城復興基本方針に基づき、施策の具体的な方向性等を体系的に定め、計画的に復興を推進していく。
- 県民等、企業・団体及び大学・行政他関係機関が基本計画を共有することで、未来を見据え、首里城に象徴される沖縄の歴史・文化の価値を確実に次世代に伝達し、それぞれの時代にふさわしい新たな文化創出など沖縄発展の礎として首里城復興に一体的かつ継続的に取り組んでいく。

2 基本計画の期間

- 令和2年(2020年)度から令和13年(2031年)度までの12年間とする。
- 沖縄21世紀ビジョンの目指す将来像が概ね令和12年(2030年)であること、新たな振興計画の最終年度が令和13年(2031年)度であることを考慮して設定。
- 令和2年度を始期として令和3年度末までを短期、正殿復元予定である令和8年(2026年)度末までを中期、令和13年(2031年)度末までを長期として区分・整理する。

3 首里城復興が目指す将来像

- 首里城復興は、首里城の復旧のみならず、首里城を中心とした歴史・文化の再評価及びこれを基層とした文化の発展・復興による沖縄振興につなげていくこと。
- 首里城復興により目指す将来像を次のとおり設定し、各基本施策及び施策展開を具体化していく。
 - 首里城を中心とした古より体験・継承している歴史・文化を基層として、ふるさとへの誇りや愛着を感じられる社会が形成されるとともに、その時代に生きる私たちがそれぞれの挑戦を通して多様で重層的な沖縄振興が果たされている。そして、これらが積み重なって沖縄の新たな歴史・文化が創造され、これらが基層に加わることで、さらに発展していく社会。

4 基本計画の位置づけ

- 基本計画は、令和4年(2022年)度を始期とする新たな沖縄振興計画に係る実施計画において、首里城復元はもとより首里城を中心とした沖縄の歴史・文化の観点から沖縄振興を目指す施策のマスタープランとなる。

5 基本計画の構成

- 体系図を表示

(1)-① 首里城復興基本計画(骨子案)

第2章 基本施策及び施策展開の方向性

基本施策1 正殿等の早期復元と復元過程の公開

基本施策のねらい
目標とするすがた
主な課題
目標達成への道筋
基本施策の体系
施策の方向性
主な主体と期待される役割

- 8つの基本施策ごとに取りまとめていく。
- 首里城復興基本計画に関する有識者懇談会・同部会において議論。

基本施策2 火災の原因究明及び防火設備・施設管理体制の強化

基本施策3 首里城公園のさらなる魅力の向上

基本施策4 文化財等の保全、復元、収集

基本施策5 伝統技術を活用と継承

基本施策6 「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの推進

基本施策7 歴史の継承と資産としての活用

基本施策8 琉球文化のルネサンス

基本計画の着実な推進

- 1 国、那覇市等関係機関との連携
- 2 国内外の学術ネットワークとの連携
- 3 県民等の継続的な参画による復興

(I)-① 首里城復興基本計画の構成

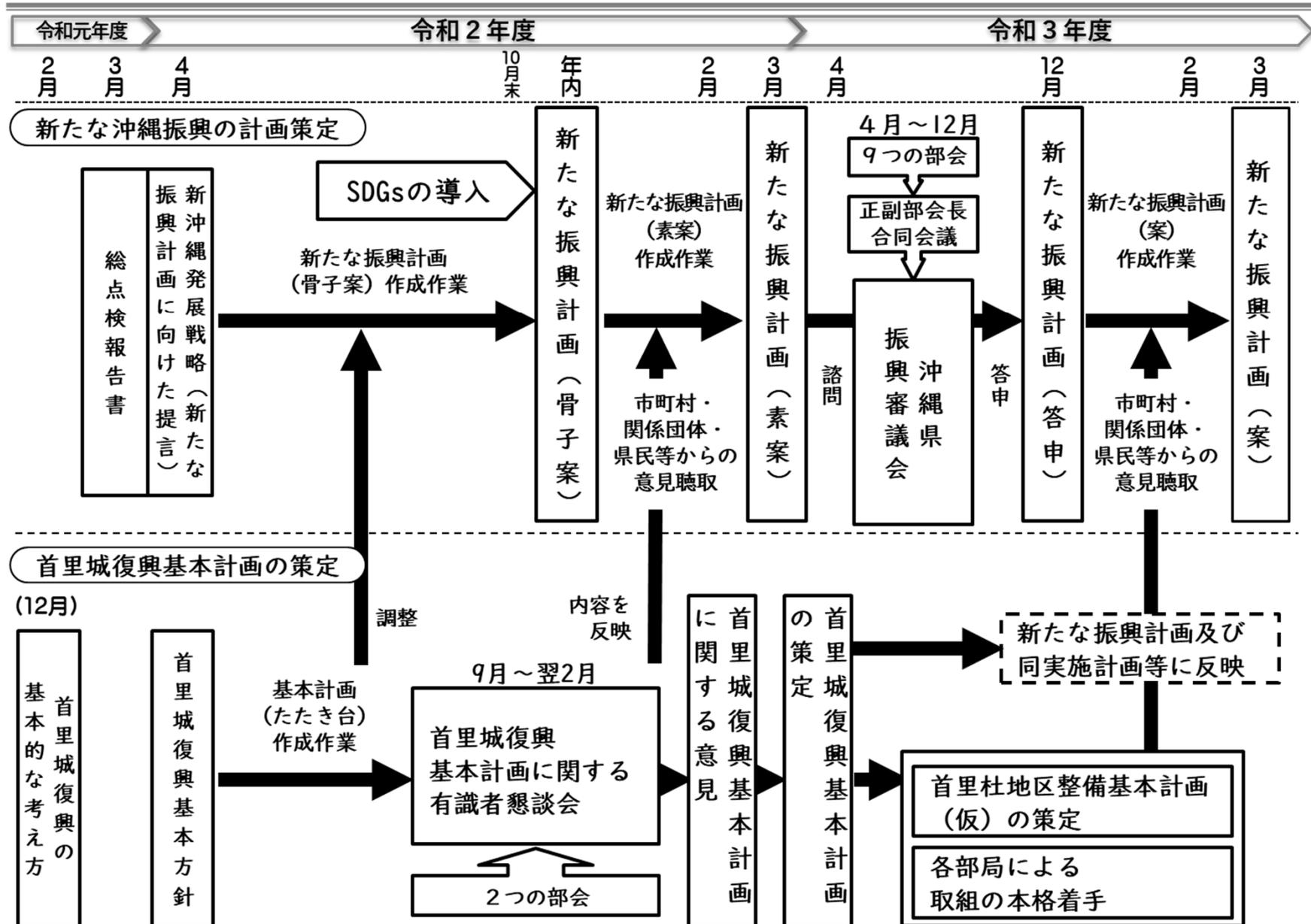
【将来像】

【基本施策】

【施策展開の方向性】

興る首里城を文化の中心創造りとした循環着る社会の形成にも歴史・文化を基層とした沖縄振	1. 正殿等の早期復元と復元過程の公開	(1)伝統技術を活用した施設整備 (2)木材、瓦等の調達に向けた取組 (3)復元過程の公開による観光資源等としての活用
	2. 火災の原因究明及び防火設備・施設管理体制の強化	(1)再発防止に向けた防火設備等の強化 (2)多様で柔軟な施設の活用
	3. 首里城公園のさらなる魅力の向上	(1)国営・県営区域の一体的利用 (2)多様で柔軟な施設の利活用
	4. 文化財等の保全、復元、収集	(1)首里城跡の適正な保全と価値の周知 (2)文化財等の復元、修復及び収集
	5. 伝統技術の活用と継承	(1)伝統的な建築技術の活用と継承 (2)文化財等の復元、修復及び収集
	6. 「新・首里杜構想」による歴史まちづくりの推進	(1)歴史を体現できる風格ある都市空間の創出 (2)首里城公園及び周辺地域の段階的整備 (3)交通環境の整備
	7. 歴史の継承と資産としての活用	(1)多様で魅力ある観光資源の活用 (2)平和を希求する「沖縄のこころ」の発信 (3)次世代を担う子どもたちへの継承
	8. 琉球文化のルネサンス	(1)多様性・独自性を持つ琉球文化の再認識 (2)琉球文化の復興と新たな文化の創出 (3)国内外へ向けた琉球文化の発信 (4)琉球文化を活用した産業振興
	基本計画の着実な推進	1 国、那覇市等関係機関との連携 2 国内外の学術ネットワークとの連携 3 県民等の継続的な参画による復興

(I)-① 首里城復興基本計画と新たな振興計画との関係



(I)-① 有識者懇談会等の実施状況

開催時期	会議等	内容
9月14日	第1回 有識者懇談会 第1回 琉球文化継承・振興検討部会 第1回 新・首里杜構想検討部会 合同会議	<ul style="list-style-type: none"> 首里城復興基本方針に基づく今年度の沖縄県の取組状況 施策の現状と課題の整理 有識者懇談会の進め方
10月23日	第2回 琉球文化継承・振興検討部会	<ul style="list-style-type: none"> 琉球文化のルネサンスの捉え方について 首里城復興基本計画（たたき台）について
10月28日	第2回 新・首里杜構想検討部会	<ul style="list-style-type: none"> 新・首里杜構想の策定について
11月27日	第2回 有識者懇談会	<ul style="list-style-type: none"> 各部会の内容を踏まえた首里城復興基本計画（たたき台）に関する総合的な議論
12月9日	第1回 Zoom座談会	<ul style="list-style-type: none"> 首里城復興の意義について
12月18日	第2回 Zoom座談会	<ul style="list-style-type: none"> 首里城を中心とする歴史・文化の再認識と復興とは？
12月21日	第3回 琉球文化継承・振興検討部会	<ul style="list-style-type: none"> 首里城復興基本計画（たたき台）に関する議論
12月23日	第3回 新・首里杜構想検討部会	<ul style="list-style-type: none"> 首里城復興基本計画（たたき台）に関する議論
2月上旬	第3回 有識者懇談会	<ul style="list-style-type: none"> 首里城復興基本計画（案）とりまとめに関する議論
2月中旬	第3回 Zoom座談会	<ul style="list-style-type: none"> 首里城復興基本計画について
3月上旬	有識者懇談会からの意見	<ul style="list-style-type: none"> 首里城復興基本計画（案）に対する意見
3月下旬	首里城復旧・復興推進本部会議	<ul style="list-style-type: none"> 首里城復興基本計画（案）の決定
	首里城復興基本計画の策定・公表	<ul style="list-style-type: none"> 知事決裁後公表

(1)－① 有識者懇談会 主な意見

1. 防火設備・施設管理体制の強化に関し、最新システムによる省人化も重要だが、人員配置、連絡体制の構築など、最終的には人間の力が大切であることを踏まえ取り組む必要がある。
2. 将来の修繕・改築に向け、県産木材の植樹や育樹に取り組む必要がある。
3. 北部から木材を運ぶ際の国頭サバクイ、与那国島から大龍柱の材料となる石材を運ぶ際の石木遣り(いちきやい)等の行催事を単発ではなく、首里の御城(うふぐしく)クエーナ等の各地の行事と連携し、一体となって実施することで、地域文化の伝承やそこに住む人びとの誇りにつなげていく視点を持って取り組む必要がある。
4. 城郭内にあった展示収納機能を県営公園区域内に移設設置することについては、中城御殿及び円覚寺本殿等の復元で、それぞれの機能を具体的に検討した上で、国に積極的に働きかけるべき。
5. 被災した漆器類の修復には20年を要するとされ、高度な技術を持つ人材は国内に10人程度。県立芸大で修復技術を学ぶ環境ができたとしてもさらに10年程の修行が必要。保存科学(分析)も教授が限られ、簡単なことではない。従って、沖縄県は、超長期的な戦略を持って、県外・国外にある美術工芸品を沖縄で修復していくことを目指し、決意を持って取り組む必要がある。
6. 首里にある泡盛、味噌、紅型等100年以上の歴史を持つ伝統産業と守礼門、継世門や御内原等との歴史的なつながりに焦点を当てストーリー化することで、歴史・文化への理解、県民の誇りにつなげていくとともに観光資源化していく取組が必要である。

(1) 報告事項

② 首里城復興に関する取組状況について

(1)–② 各種委員会の状況について

	会議名	事務局	設置目的	取組状況
①	首里城復元に向けた技術検討委員会	沖縄総合事務局	首里城復元に向けた基本的な方針を踏まえ、有識者を含めた委員会で復元の技術的な検討を行う。 (3/27)関係閣僚会議 首里城正殿等の復元に向けた工程表	R2技術検討委員会 ・(5/21)第1回委員会 ・(9/25)第2回委員会 ・(11/26)第3回委員会
②	首里城復興基本方針に関する有識者懇談会	首里城復興戦略チーム	「首里城復興の基本的な考え方(令和元年12月26日沖縄県)」に基づき、有識者及び関係機関からの意見を聴取し、沖縄県の首里城復興に向けた基本方針を策定する。	(4/24)沖縄県首里城復興基本方針の発表
③	首里城復興基本計画に関する有識者懇談会	特命推進課	「首里城復興基本方針」に基づき、有識者及び関係機関からの意見を聴取し、沖縄県の首里城復興に向けた基本計画を策定する。 有識者懇談会の下に専門部会として「新・首里杜構想検討部会」と「琉球文化継承・振興検討部会」を置く。	・(9/14)第1回有識者懇談会・2部会合同会議 ・(10/23)第2回琉球文化継承・振興検討部会 ・(10/28)第2回新・構想検討部会 ・(11/27)第2回有識者懇談会 ・(12/21)第3回琉球文化継承・振興検討部会 ・(12/23)第3回新・首里杜構想検討部会
④	首里城火災に係る再発防止検討委員会	首里城復旧・復興ワーキンググループ	首里城火災に関する検証結果を踏まえ、首里城公園全体の火災の再発防止策を検討する。	・第1回委員会 3月18日 ・第2回委員会 4月6日 ・第3回委員会 8月21日 ・中間報告を9月11日に報告 ・県外事例調査 姫路城、妙心寺、清水寺 ・第4回委員会 11月25日
⑤	首里城美術工芸品等管理委員会	沖縄美ら島財団	首里城公園での火災を受け、(一財)沖縄美ら島財団が所有する美術品、工芸品の管理手法等を検討し、沖縄の貴重な歴史文化遺産の適切な保存を図る。	・(12/10)第1回委員会 ・(3/3)第2回委員会 ・(11/25)第3回委員会

(1)–② 各検討グループの進捗状況

検討グループ/担当課	検討内容	現状
①防火対策検討G 都市公園課、文化財課、 防災危機管理課	<ul style="list-style-type: none"> 火災の再発防止に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> (1/29)警察、(3/6)消防の発表を踏まえ、(3/18)「首里城火災に係る再発防止検討委員会」を設置し諸課題の検討に着手。 再発防止検討委員会のヒアリングを実施。 (警備員・監視員、沖縄県警察、那覇市消防局、財団)
②文化財等検討G 都市公園課、文化振興課、 文化財課	<ul style="list-style-type: none"> 美術工芸品の修復・復元に関すること 展示・収蔵庫のあり方に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> (7/3)琉球王国文化遺産集積・再興事業の継続について検Gで重要性を確認。 復元品の首里城での展示における課題等について引き続き検討を行う。 (10/30)Google arts & cultureの公開について、世界遺産サミット本会議で、知事が発表。 (11/25)首里城美術工芸品等管理委員会にオブザーバー参加。
③歴史まちづくり検討G 特命推進課、都市公園課、 文化振興課、女性力・平和推進課、文化財課 他	<ul style="list-style-type: none"> 首里地域の交通・まちづくりに関すること 32軍司令部壕の活用のあり方に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> (2/17)知事、副知事による32軍司令部壕の視察。 (2/28)那覇市と意見交換、まちづくりは那覇市と連携することを確認。 (3/5)首里城まちづくり研究会と意見交換。 (7/9)首里城周辺まちづくり団体連絡協議会と打合せ、今後、シンポジウムやワークショップ等での連携を確認。 (7/18)まちづくり団体の首里杜構想の勉強会への参加。 (10/2)合同検討G(琉球文化継承・振興G)を開催し、計画フォーマットやスケジュール等の確認。 (10/12)まちづくり団体との意見交換。

(1)–② 各検討グループの進捗状況

検討グループ/担当課	検討内容	現状
④琉球文化継承・振興検討G 特命推進課、文化振興課、観光振興課、ものづくり推進課	<ul style="list-style-type: none"> 琉球文化の継承、振興に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> (7/17)文化関係団体等と意見交換。 (10/2)合同検討G(琉球文化継承・振興G)を開催し、計画フォーマットやスケジュール等の確認。
⑤復旧推進検討G 都市公園課、特命推進課、文化振興課、ものづくり課、森林管理課	<ul style="list-style-type: none"> 城郭内復旧の推進体制等に関すること 基金(寄附金)の執行に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> (2/6)寄附金の用途について、知事と那覇市長が面談し、「城郭内施設の復元」に充てることを合意。 (9/9～10)知事から国交大臣等へ、寄附金の充当事業第一号である大径材一部の調達について要請。
⑥復興財源検討G 特命推進課、都市公園課、文化振興課、企画調整課	<ul style="list-style-type: none"> 企業版ふるさと納税やその他復興財源の検討に関すること 次期振興計画への位置づけ 	<ul style="list-style-type: none"> (6/24)企業版ふるさと納税制度の法改正(措置期限を5年間延長(令和6年度まで)した上で、税額控除割合を引き上げる等)について情報共有 (11/5)地域再生計画「沖縄21世紀ビジョンゆがふしまづくり計画」に首里城関連事業を追加した変更認定。
⑦誘客対策検討G 都市公園課、特命推進課、文化振興課、観光振興課 他	<ul style="list-style-type: none"> 段階的公開や復興イベントに関すること 観光振興に関すること 	<ul style="list-style-type: none"> (10/30～11/3)首里城プロジェクションマッピング及び首里城復興沖縄空手演武会 (10/31～11/1、11/7～8)ものづくり体験等イベントを実施。

(1)-② 首里城復興展示室等の設置状況

首里城復興展示室



世誇殿



女官居室



(1)-② 首里城復興イベント(プロジェクションマッピング)

歓会門



【事前申込者数】

10/30(金) 3,203名
10/31(土) 6,406名
11/ 1(日) 4,402名

合計 14,011名

※申込枠 : 8,550名

【当日来場者数】

10/30(金) 1,929名
10/31(土) 2,606名
11/ 1(日) 2,571名

合計 7,106名

広福門



北城郭



(1)-② 首里城復興イベント(ものづくり体験等)



指導者:沖縄県琉球赤瓦漆喰施工共同組合



指導者:ぎやらりーゆしびん

【会場入場者数】	
10/31(土)	654名
11/ 1(日)	625名
11/ 3(火)	1,243名
11/ 7(土)	428名
11/ 8(日)	429名
合計	3,379名



旗頭演舞(地域青年会)



古典芸能(県立芸大生)

取材
RBC:R2. 11. 7
OTV:R2. 11. 8

放送日
R3. 1. 16(予定)



エイサー演舞(首里地区児童)



まちまーい(那覇市観光協会)



地域紹介パネル
(地域・財団・埋蔵文化財センター等)

(1)–② Google arts & cultureの公開



沖縄県との提携

Google社と連携し、同社が運営するGoogle Arts & Cultureで首里城に象徴される琉球の歴史・文化をデジタルコンテンツ「首里城復興」として発信。

写真や絵画を通して、首里城の移り変わりを知ることができる「空から見た首里城の今と昔」や火災後の復興していく姿を見ることができる「首里城の旅」。また、東京工業大学の川上特任准教授協力のもと、首里城復興を願う3000人を超える世界中の方々から寄せられた思い出の写真がベースとなっている3Dモデルなど8つのストーリーを掲載している。

検索

<https://artsandculture.google.com/project/castles-of-japan?hl=ja>

○ ストーリーの内容

- ・在りし日の首里城 ・空から見た首里城の昔と今 ・沖縄の歴史や文化を代表する9つの世界遺産
- ・首里城の旅 ・記憶をつなぐー思い出の写真から復元した首里城ー ・琉球の手わざー琉球王国の文化ー
- ・450年の歴史が産んだ琉球文化日本遺産 ・首里城正殿ー日本と中国の様式を取り入れた琉球独自の意匠ー

(1) 報告事項

③ 企業版ふるさと納税への対応について

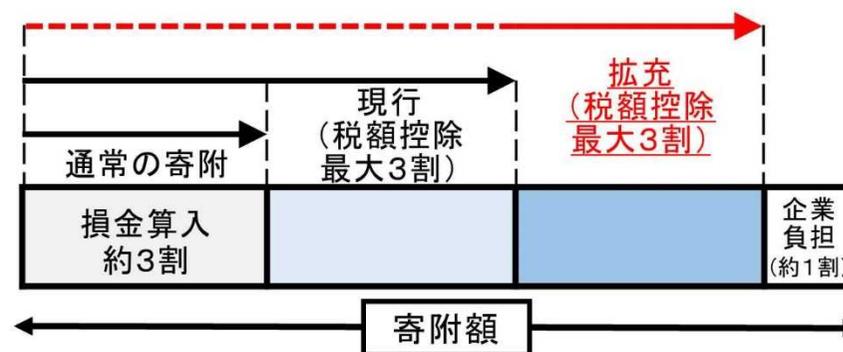
(1)–③ 企業版ふるさと納税制度への対応について

寄附金の状況(11/27現在)

寄附金(県分)合計		約34.9億円	—
うち、住所等把握分		約25.1億円	100.0%
内訳	県内	約8.9億円	35.5%
	県外(国内)	約16.2億円	64.5%
	海外	約0.07億円	—

※那覇市受入分:約16億円

税率控除割合の引き上げ(令和2年度税制改正)



例) 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税(法人住民税、法人事業税、法人税)が軽減

地域再生計画(沖縄県21世紀ビジョンゆがふじまづくり計画)に
首里城復興の取組を位置づけ

県外企業が寄附しやすい環境の整備

(2) 確認事項

- ① 首里城復興基金の活用について
(木材の樹種変更、赤瓦の調達)**

(2)–① (国) 首里城正殿等の復元に向けたスケジュール

(2020年3月27日)
首里城復元のための関係閣僚会議

(年度)

		R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9 以降
正殿	材料調査 (大径材)		市場調査							
	設計		基本設計	実施設計						
	材料調達 (大径材)			調達・乾燥						
	工事	仮設道路 がれき撤去		木材倉庫	発注手続(WTO)		本体工事			
北殿、南殿等			撤去 正殿復元の施工ヤードとして使用	検討					工事	

(2)ー① 首里城復興基金活用の主な事業及び決定の時期等

活用方針 第1より

基金は、一日も早い首里城火災からの復興を願う国内外を含めた県内外からの寄附金によって積み立てられていることから、県民はもとより県内外の人びとの想いを尊重し、焼失した首里城の城郭内の施設等の復元に活用する。

活用方針 第2より

首里城正殿の復元まで (第1フェーズ)

※現在の寄附金
約50億円

1. 正殿の木材調達に関する事業

(1) 大径材の一部(柱・梁・桁などの軸組に使用)

- ・令和2年9月 国と協議 令和3年4月事業開始
- ・令和2年12月 国に変更協議申入れ(樹種変更)予定

(2) 大径材を除く造作材のうち県産材(外壁、天井、床板などに使用)

2. 正殿の赤瓦調達に関する事業

- ・令和2年12月 国に協議申入れ予定 令和3年4月事業開始

3. 大龍柱等の石彫刻、唐破風妻飾等の木彫刻及び龍頭棟飾等の焼物など、屋外彫刻の復元に関する事業

4. 扁額などの室内装飾の復元に関する事業

5. 第1号から第4号のほか、首里城正殿、北殿及び南殿等の復元に関する事業

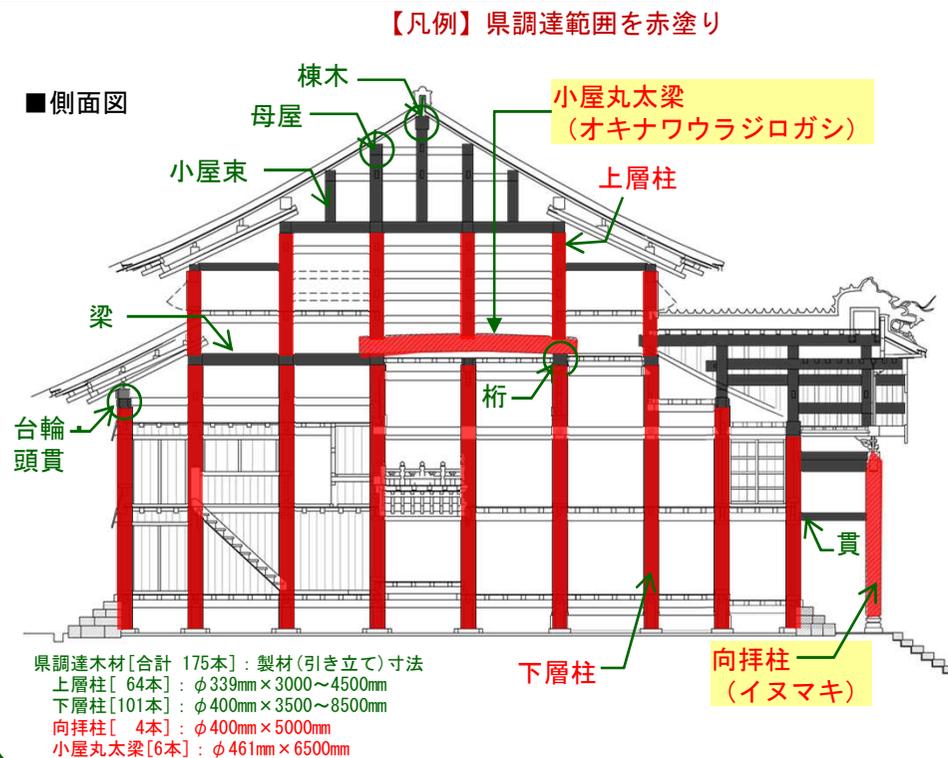


正殿復元後 (第2フェーズ)

5. (中略) 北殿及び南殿等の復元に関する事業

(2)－① 首里城復興基金活用による木材・赤瓦の調達

(1) 大径材の樹種変更について



【令和2年9月30日】

首里城正殿復元工事に用いる大径材のうち、柱材（国産ヒノキ）と小屋丸太梁材（国産ヒノキ）について、寄附金を充当して調達することで、沖縄総合事務局と沖縄県で協議が整った。

→協議が整った沖縄県調達の大径材のうち、向拝柱と小屋丸太梁については、イヌマキ（長崎）とオキナワウラジロガシ（国頭・石垣）が見つかったので、国産ヒノキから樹種変更として沖縄総合事務局と協議をしたい。

(2) 赤瓦調達について

沖縄県と沖縄総合事務局で連携して、原土の材料調査とあわせて、シャモットを含めた配合の検討および焼成試験に取り組んでいるところである。

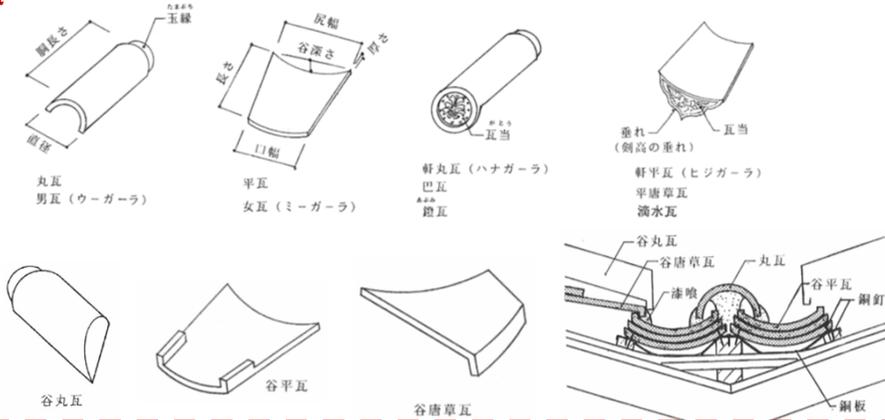
沖縄県では、「沖縄県首里城復興基金の活用に関する方針」（令和2年7月30日）に基づき、次年度からの正殿に用いる赤瓦調達に関する事業への寄附金の充当に向けて、今後、沖縄総合事務局と覚書締結に向けた協議をしたい。

(2)-① 首里城正殿「赤瓦」の今回の対象

(1) 屋根瓦【プレス成形・釉薬なし】

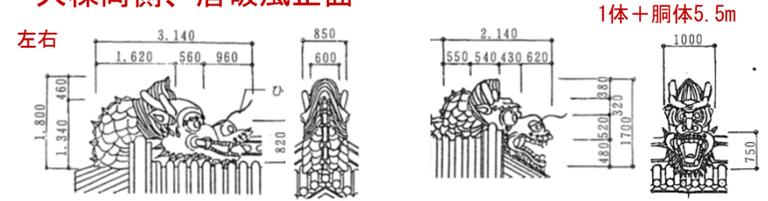
丸瓦、平瓦、軒丸瓦、軒平瓦、谷丸瓦、谷平瓦、谷唐草瓦

瓦



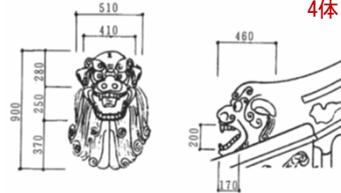
(2) 龍頭棟飾り【分割製作→現場組立・釉薬有り】

大棟両側、唐破風正面



(3) 鬼瓦【釉薬有り】

4体

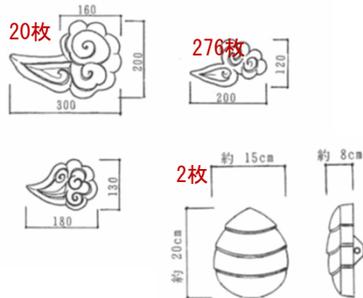


【】は前回復元時の製造状況

沖縄総合事務局国営沖縄記念公園事務所「首里城正殿実施設計報告書」(H1.3)

(4) 雲型飾り瓦【成形なし・釉薬なし】

通常(一对)、大型、丸型



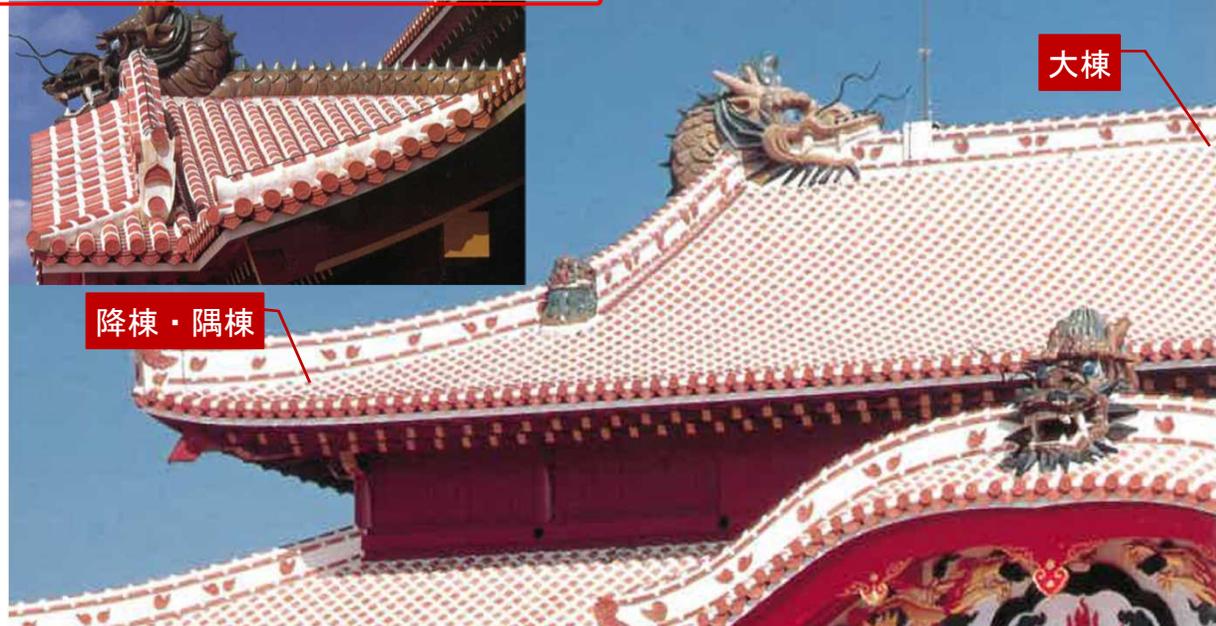
【今回の対象】(工場で製造する瓦)
「プレス成形」「釉薬なし」

プレス成形しないものや
釉薬有りのものは今後調整予定

(5) 大棟・降棟・隅棟【釉薬なし】

雁振瓦、熨斗瓦(天・台)

鳥衾(軒丸)、隅棟端部(軒平逆さ)、隅瓦(大型軒丸)



(2) 確認事項

② 中城御殿の整備について

(城郭内文化財展示収蔵機能の附加)

(2)－② 美術工芸品等(文化財等)の火災による被害状況

美術工芸品等1,510点のうち、特別収蔵庫以外で展示・保管していた391点が焼失。
特別収蔵庫で保管していた品についても、熱や水による被害を受けている。

- 特に寄満特別収蔵庫(2階)で保管していた、漆器類の劣化被害が大きく、20年程度の長期間の修復作業が見込まれる。
- 県指定有形文化財「黒漆菊花鳥虫七宝繫沈金食籠」くろうるしきっかちようちゆうしっぽうつなぎちんきんじきろう「黒漆牡丹七宝繫沈金食籠」くろうるしぼたんしっぽうつなぎちんきんじきろうも被害を受けており修復が必要。
- 被害を受けた美術工芸品の修理の方針や展示室・収蔵庫の課題等について、(一財)沖縄美ら島財団が設置した「首里城美術工芸品等管理委員会」で専門家による検討が行われている。

	収蔵総数	所在確認数	状態確認調査			
			要調査数	要修繕数	修繕不要数	未調査数
絵画	183	156	59	6	53	0
漆器	487	285	285	112	0	173
染織	306	302	28	19	9	0
書跡	125	106	24	5	19	0
陶磁器	127	46	46	20	22	4
金工品・その他	282	224	37	32	5	0
合計	1,510	1,119	479	194	108	177

資料: 首里城美術工芸品等管理委員会_(一財)美ら島財団 R2.11.25



【沖縄県の対応】

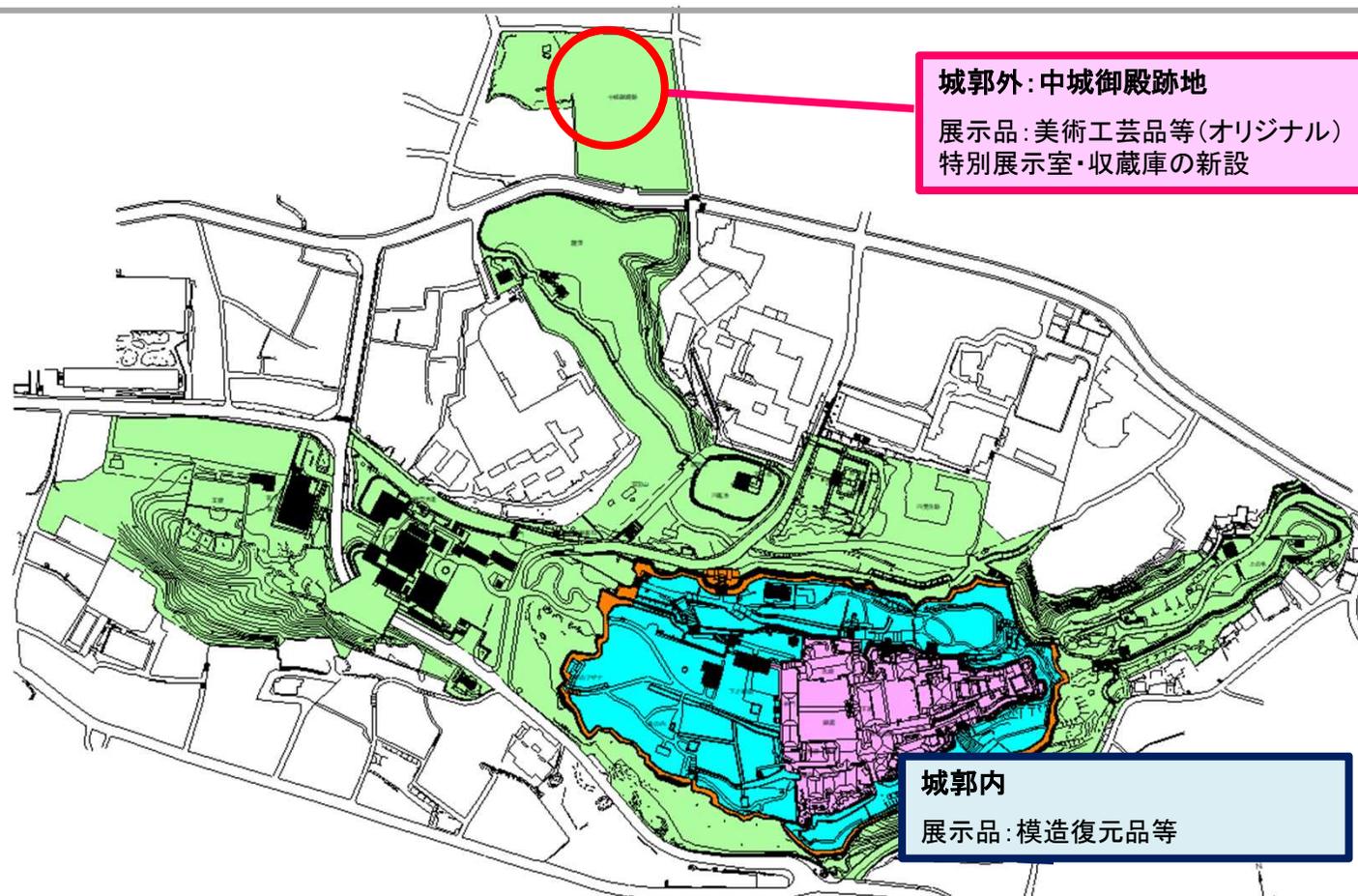
- 火災による被害状況から、重要な美術工芸品等の展示収蔵は城郭外で行なうべきとの有識者の意見が多く、県営公園区域での施設整備の検討が必要。
- 県営首里城公園の事業計画に位置付けられている中城御殿跡地が、歴史的背景や公園の魅力向上の観点からも有力な候補地と考えられ、県として中城御殿跡地の整備に向けた検討を進めたい。

(2)-② 首里城公園における特別展示室・収蔵庫の配置(案)

- 首里城復旧・復興ワーキンググループ会議によって、以下の案を作成。
- 県文化財課、文化振興課、都市公園課、(一財)美ら島財団による検討と有識者の意見を参考とした。

特別展示室・収蔵室のあり方(案)

- ① オリジナルの美術工芸品等は、原則、城郭外(中城御殿跡)で展示・収蔵する。
- ② 城郭内での展示に関しては、模造復元品等を中心とした展示を基本とする。
- ③ 城郭内外の特別展示室・特別収蔵庫について、防災機能やバックヤード機能の向上が必要。

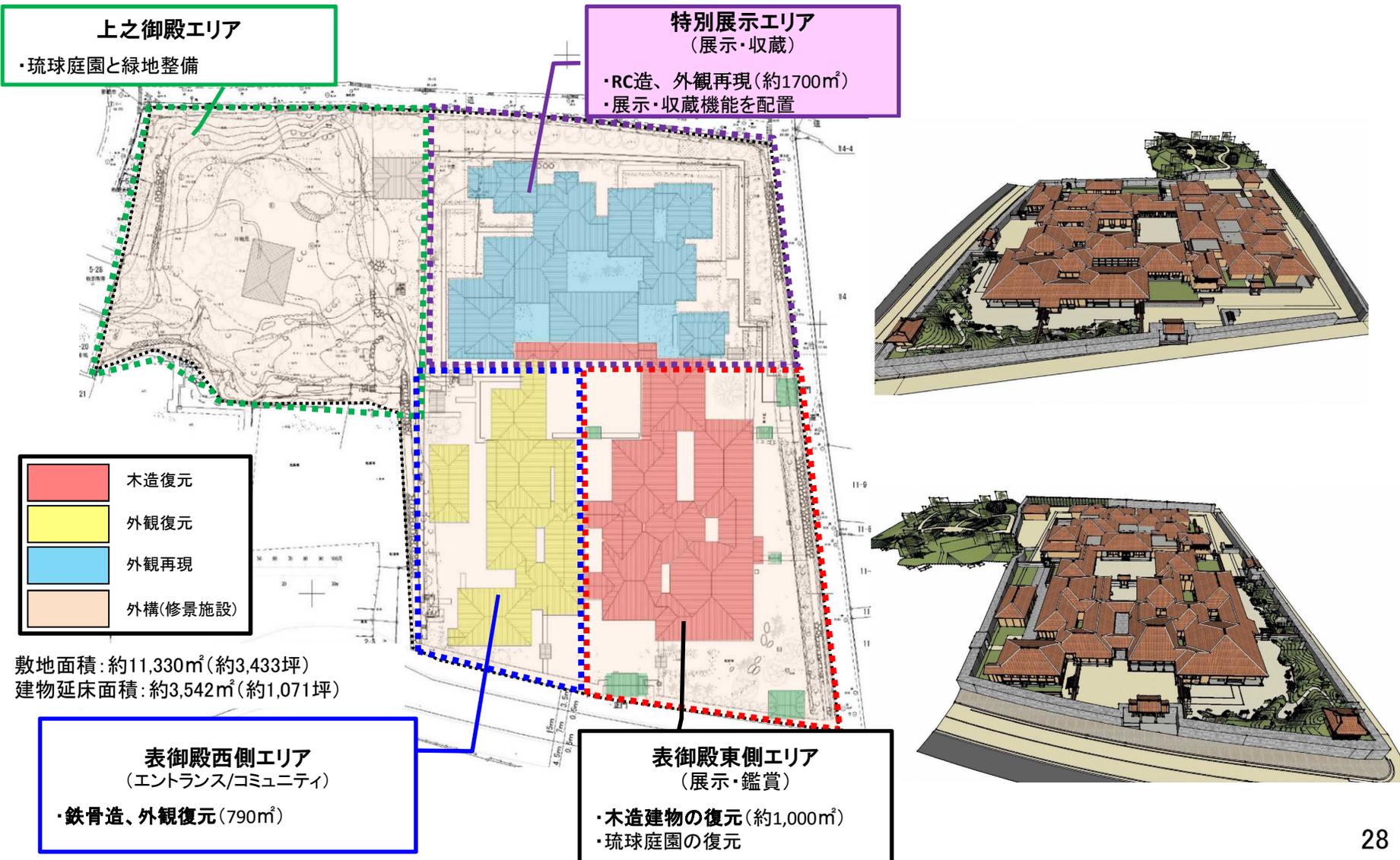


(2)-② 中城御殿跡地エリア別の整備計画(H23)

令和3年度見直し予定

【施設概要】

王国末期から戦前に至る王家ゆかりの屋敷で、平成22年度～26年度検討委員会を開催し、中城御殿跡地整備基本計画等を策定。令和3年度で基本計画の改訂を予定。



(参考) 首里城復旧・復興に向けた体制

【①庁内体制】

首里城復旧・復興推進本部

組織: 知事、副知事、政策調整監、関係部局長

所掌事務: 復興基本計画の策定に関する事。施策の方針決定・情報共有に関する事。

庶務: 特命推進課(主)、都市公園課(副)

首里城復旧・復興ワーキンググループ

体制: 土建部参事、特命推進課長、関係課長(10課体制)

役割: 復旧・復興の諸課題の分析及び検討

庶務: 都市公園課(主)、特命推進課(副)

検討グループ(課題ごとに設置)

- | | |
|-----------------|-------------------|
| ① 防災対策検討グループ | ② 文化財等検討グループ |
| ③ 歴史まちづくり検討グループ | ④ 琉球文化継承・振興検討グループ |
| ⑤ 復旧推進検討グループ | ⑥ 復興財源検討グループ |
| ⑦ 誘客対策検討グループ | |

(参考) 首里城復旧・復興に向けた体制

【②検討グループ】

検討グループ ◎はリーダー	WGメンバー										検討内容 ※オブザーバー参加 各検討グループについて、必要に応じ関係課や関係機関を加えることができるものとする。
	都市公園課	特命推進課	文化振興課	文化財課	防災危機管理課	企画調整課	観光振興課	ものづくり振興課	森林管理課	女性力・平和推進課	
① 防火対策検討G	◎		○	○	○						<ul style="list-style-type: none"> 火災の再発防止に関すること
② 文化財等検討G	◎		○	○							<ul style="list-style-type: none"> 美術工芸品の修復・復元に関すること 展示・収蔵庫のあり方に関すること
③ 歴史まちづくり検討G	○	◎		○						○	<ul style="list-style-type: none"> 首里地域の交通・まちづくりに関すること 32軍司令部壕の活用のあり方に関すること
④ 琉球文化継承・振興検討G	○	◎		○			○	○			<ul style="list-style-type: none"> 琉球文化の継承、振興に関すること
⑤ 復旧推進検討G	◎	○	○					○	○		<ul style="list-style-type: none"> 城郭内復旧の推進体制等に関すること 基金(寄附金)の執行に関すること
⑥ 復興財源検討G	○	◎				○					<ul style="list-style-type: none"> 企業版ふるさと納税やその他復興財源の検討に関すること 次期振興計画への位置づけ
⑦ 誘客対策検討G	◎	○	○				○				<ul style="list-style-type: none"> 段階的公開や復興イベントに関すること 観光振興に関すること

